

高知県から
PG視察

山形県支部
仲間入り

IPGA NEWS 24



INTERNATIONAL PARK GOLF ASSOCIATION

国際パークゴルフ協会

北海道中川郡幕別町錦町66番地2

☎(0155)54-2260・F54-2204

1999. 12. 1 発行

南米大陸に広がる パークゴルフ人気



人々が集い、笑顔が生まれる
PGの原点がそこにはあった



南米特有の樹木が茂るコース、とにかく広い



来年の、とやま国体開催コースでの大会に一段と力が入る

富山県パークゴルフ大会

9月23日

下村P G場 18ホール・240人

大会結果

<男子の部>

優勝	関原辰雄	(下村)	47
準優勝	寺生健三	(小杉町)	50
3位	真野進	(下村)	51

<女子の部>

優勝	福田文子	(大島町)	53
準優勝	高井晶子	(新湊市)	56
3位	井戸美千代	(小杉町)	57

コースに係員を配し、大会進行もスムーズに

県内8協会からの出場。来年の「とやま国体」デモンストレーション行事開催のP G場。例年の大会とは違い、運営をスムーズに行うためコースには係員を配置、時間的な進行状況の配慮などが図られた。これをふまえて10月17日には本大会に準じたデモ大会も開かれ来年に向けて着々と準備を進めている。

P G全国交流根上大会 第2回「日本海カップ」

10月9日、10日

根上町P G場 36ホール・161人

多くの出場者もギャラリーとなつて、ボールの行方を追う



大会結果

<男子の部>

優勝	盛戸良三	(根上町)	200
準優勝	北野良則	(根上町)	202
3位	大西好男	(根上町)	209

<女子の部>

優勝	高木希世江	(根上町)	213
準優勝	市村紀美代	(根上町)	215
3位	清田真奈美	(根上町)	217

スポレク祭の前しょう戦は地元勢が上位を占める

来年の全国スポレク祭の会場となる根上町。前しょう戦ともいえる大会。参加は石川県のほか宮城、富山、神奈川県からの参加もあった。男女とも地元勢が地の利を生かし上位を占める結果となったが、交流深まる盛会であった。

総合順位

<男子の部> ポイント

1位	山下義明	(札幌市)	89
2位	佐藤秋人	(札幌市)	87
3位	太田栄枝	(帯広市)	78
4位	有働捷英	(札幌市)	76
5位	服部誠	(札幌市)	73
6位	清水孝浩	(札幌市)	73
7位	生源寺不二夫	(恵庭市)	69
8位	鈴木雄作	(苫小牧市)	68
9位	大森幹雄	(札幌市)	58
10位	百瀬光記	(江別市)	57

<女子の部>

1位	佐藤チイ子	(恵庭市)	98
2位	山根富子	(札幌市)	91
3位	嶋洋子	(恵庭市)	82
4位	大藤契子	(恵庭市)	77
5位	新谷みちる	(江別市)	76
6位	新谷昭子	(札幌市)	68
7位	北村秀子	(札幌市)	59
8位	山田のり子	(札幌市)	52
9位	鈴木幸子	(札幌市)	51
10位	庵跡邦子	(札幌市)	50



長期戦の勝敗もまずはこの一打から

最終戦を終え、総合ポイントによる入賞者が決まり、男子は全大会で入賞を果たし優勝1回準優勝2回の山下義明さん(札幌市)が、女子は優勝4回と実力を発揮した佐藤チイ子さん(恵庭市)がともに前大会に引き続き2連覇を遂げた。

開催日程

3月28日(日)	札幌屋内大会	73名
4月25日(日)	苫小牧大会	131名
5月23日(日)	小樽大会	104名
6月13日(日)	由仁・三川大会	131名
7月11日(日)	千歳・コトロ大会	139名
8月8日(日)	札幌・エルク大会	139名
9月12日(日)	白老大会	108名
10月17日(日)	千歳大会	109名

第2回パークゴルフフツァー選手権
北海道内を8ヶ月にわたり転戦
実力発揮し、山下義明さん、佐藤チイ子さん連覇

1シーズンにわたり8カ所を転戦して、ポイントを競い合う第2回パークゴルフフツァー選手権が10月17日の千歳大会で最終戦を迎えた。

この選手権は3月の札幌屋内大会を皮切りに、小樽、苫小牧、由仁、千歳、白老など会場を変えて競い合う長期戦で、各地域の特色あるコースを楽しみながらスコアを競い合う。優勝者には20点、2位には19点と入賞者はそれぞれ決められたポイントを獲得し、全8戦の総得点で順位が決まる。

第2回おけとウルトラPG大会

10月9日、10日

拓殖PG場 90ホール・499人

499人の選手たち、
全ホールに張り付きプレー



大会結果

<男子の部>

- 優勝 横道和夫(帯広市) 234
- 準優勝 広中道生(温根湯) 242
- 3位 松浦龍夫(北見市) 244

<女子の部>

- 優勝 田房朝江(置戸町) 253
- 準優勝 貝崎比奈子(網走市) 257
- 3位 大久保ミヨ子(置戸町) 259

喜びの優勝者



90ホールの広々コース、 忍耐力も勝負の決め手のウルトラ大会

90ホールの長丁場、出場者499人の日本最大規模を誇るその名の通り、ウルトラ級の大会。大会には北見工業大学の留学生17人も参加、10日夜には交流会も開かれた。この大会では腕前はもとより、2日間にわたり10コースを回る忍耐力での勝負となった。

第8回釧路支部大会

- ・10月3日
- ・浜中町PG場
- ・167人

- ①小山 ミヨ(歌登町) 122
 - ②枝澤久仁子(歌登町) 124
 - ③高橋 繚子(歌登町) 124
- <女子の部>
- ①宮下 英郎(枝幸町) 116
 - ②小松 義三(歌登町) 118
 - ③村上 之雄(浜頓別町) 118

○：7月に開催される結成記念大会と並ぶ支部の2大会。参加者の中には大正生まれの元気な選手も。その中の二人がともに2、3位となって表彰台へあがる大健闘ぶりを見せた。



第3回宗谷支部長 杯争奪大会

- ・9月19日
- ・歌登町松垣公園PG場
- ・71人

高齢者・身障者 専用コースできる 幌加内PG協会が コースの改造

- ：同支部では毎年開催地を持ちまわりにしており、その地域の特色を生かした大会で参加品に地域の特産品などが並ぶ。入賞者のほか、スコアにラッキーナンバーにちなんだ数字があるとラッキー賞となり、大会最後までスコアが気になるときどきわくわくの盛りぶりだった。
- <男子の部>
- ①小笠原昭彦(浜中町) 98
 - ②今井健左衛門(弟子屈町) 102
 - ③藤原 敬一(標茶町) 103
- <女子の部>
- ①佐藤テル子(浜中町) 103
 - ②熊谷 厚子(浜中町) 104
 - ③片山 啓子(釧路市) 105



車いすでもプレーできます。長めのクラブも用意。

「高齢者や身障者の方々気軽にパークゴルフを楽しんでもらおう」と専用コースが北海道空知管内幌加内町に9月27日オープンした。利用者からは「気兼ねなくゆつくりと楽しむことができる」と好評、他地域からも利用についての問い合わせがきている。

町内の百年記念公園に設置されたこの「せせらぎコース」は、コース横まで車の乗り入れができる、ティーグラウンドを地面の高さと同じにし、9ホールの総距離は一般コースに比べ短くし約300メートルにしたのが特徴。幌加内PG協会が町と連



左側が改造ティーグラウンドの段差をなくしたのが特徴で足・腰に負担なくプレー。

携して企画、改造部分は協会の役員で自ら行った。コースには車椅子用の長いクラブなどPG用具や手作りスコアカードを用意し無料で貸し出している。

健康づくりにとパークゴルフを取り入れていた町保健福祉総合センターのデイサービスを受けているお年寄りたちはこれまで一般コースを利用することがなかったが、オープン初日には11人が挑戦、工夫されたコースでパークゴルフを楽しんだ。同協会事務局長の番水一光さんは「のびのびとパークゴルフの楽しさをここ幌加内で味わってほしい」と話している。



こんな動物にも出会いました

飛行機の窓からみた南米の肥沃な赤い（鉄の錆た様な土）台地、河の水は流れが止まった様に静かに流れ、道路らしき道は目に入らず耕作地（田畑）の境で確認出来る広大な地に、あちこちから上がる煙が人の気配を感じさせる広大な大陸、北海道も広いと思っていたがスケールが違いすぎた。北海道とは違う何かを感じてもう一度訪問したいと思いながら果てしなく続く大陸を眺め帰途の飛行機の中にいた。

（藤山光朗さん記）



南米を訪れた藤山さん（ブラジル・朝市にて）

広大な大陸に パークゴルフの息吹

手作りコースに手作りクラブで のびのびプレーが南米流

日本から見ると、地球の裏側になる南米大陸。近年、協会本部にボリビア、パラグアイ、ブラジルといった国から、パークゴルフ人気の便りがやってきました。国際PG協会の仕事にたずさわる藤山光朗さんが10月に南米を旅行し、パークゴルフを楽しむ人々に会ってきました。「日本で根付き始めた10年前と似ている」という現地の人々の熱中ぶり、パラグアイ、ブラジルでのPG事情をうかがい、写真とともに紹介します。



とにかく思い切り打つのが南米流。初夏の空の下、足どりも軽い。（アスンシオンのコースで）

藤山さんの訪れたまち

▼パラグアイ（ヘチャベス村）
3年前、日本からPG用具を持ち帰りパークゴルフが親しまれるきっかけを作った井沢繁男さんが住む。個人所有の16ヘクタールの土地にコースを造り開放、手作りクラブで楽しんでいく。協会から寄贈したクラブも届き、日系人たちに喜ばれている。
▼パラグアイ（ヘアスンシオン）
首都でもあり、郊外には日系2世ら若手経済人が中心の親ばく団体「パラグアイ・セントロ日系」が運営するスポーツ施設の一角の敷地6ヘクタールに27ホールが造られている。訪問中

に第1回全パラグアイ選手権が開かれ、各地から日系人たちが集い、自慢の手作りクラブで大会にのぞんだ。この町では、日本からの輸入品、現地で月給数ヶ月分ともなる高価な最新式クラブも手に入る。
▼ブラジル（ヘロンドリーナ市）
一年前私的なボランティアでブラジルにきている音更町出身の谷川悟さんが紹介したのがきっかけ。いまではロンドリーナ市のまちはずれ、サッカー場などの運動施設があるクラブハウスに日本から送られたクラブが置かれ自由に楽しむことができる。

訪れて知る南米PG事情

—— 藤山光朗さん記 ——

～パラグアイ・ブラジル～

南米にPGが紹介されて、3～5年経とうとしている。コース専用で使用しているが芝はまだ日本とは違い、雑草牧草と色々、訪問したときは雨が2カ月も降ってなく季節は初春、これから芝が伸びるとの話であった。

コースの面積は、18H換算で日本の2倍以上あり当然1ホールの距離も1.5倍前後もありショットは50～60メー



トル以上、南米は日本と違って土地が広いから1打目は思い切り打たせろ（地元の愛好者）。使用しているクラブもまだまだ不足しており、一部では個人輸入をしているが手日本製（右から2番目）と比べて。作りの物が多く、クラブ1本作るのに3～4日も掛かったという愛好者もあり、材料も現地調達で様々に工夫をし、クラブを作りパークゴルフを楽しんでいる。日本から贈られたクラブは愛好者の間では人気が高く仲々手に入らず、日本のクラブでプレーするのが夢と年配の女性愛好者が語っていたのが耳に残る。愛好者からは、ゲートボールの南米大会があるのでパークゴルフも将来南米大会を開催し、日本からも多くの愛好者がプレーに来てほしいと語っていた。



日本から贈られたクラブは、ここでも人気。普及に役かっている。（ブラジル・ロンドリーナ市にて）

オーストラリア・シドニーから

ホーンズビーで週末にPGのデモンストレーション、クラブのメンバーも167人に。



Swing into new game
A group of people are gathered around a golf course, some holding golf clubs. The caption reads 'Swing into new game'.



普及に努めるジョージ・エニスさんに日本からPG用具を寄贈

オーストラリア・シドニー近郊のまちホーンズビー。昨年発足したPG愛好者の集まり、「ホーンズビーパークゴルフクラブ」は市民たちへパークゴルフを知ってもらおうとデモンストレーションを行った。昨年8月からの一年間の活動の中でファミリースポーツとして周知されはじめクラブの加入者も167人に増えている。

デモンストレーションは一年間のうち4期ある学校の長期休暇の週末を利用し、のべ12回行われた。参加の呼びかけはパンフレットを作成し配布したほか、その活動が地元紙でも取り上げられ開催日は多くの市民がフェイスパークの広い芝生に集い仮設コースでパークゴルフを体験した。ゴルフとの違いを説明、スポーツとしての手軽さ、ファミリー向けのレジャーとして周知され始めている。また、11月には車いすの子供たちを対象にしたスポーツイベントにこの地で普及に努めるジョージ・エニスさんが出向きパークゴルフを紹介した。

クラブのメンバーは仕事を持ちながら週末にPGを楽しむ人が多いが今回のデモンストレーションでメンバーも10代から70代と幅広い世代の参加につながった。PG人気の高まりがあるなか、まだ本格的なコースがないのが現状。クラブとしても念願のPG場の設置を市に盛んによびかけ、ジョージさんの妻トシ・エニスさん（函館市出身）も「一日でも早く常設のコースでパークゴルフを楽しめることを願っています。あと一息です。」と話し、クラブの中心となって活動している。



キャンベルの交流大会では前原会長と一緒にラウンド(右がジョージ・エニスさん)



世界最大級イグアスの滝（ブラジルパラナ州）にて。壮大な自然を楽しめる観光地も多い。

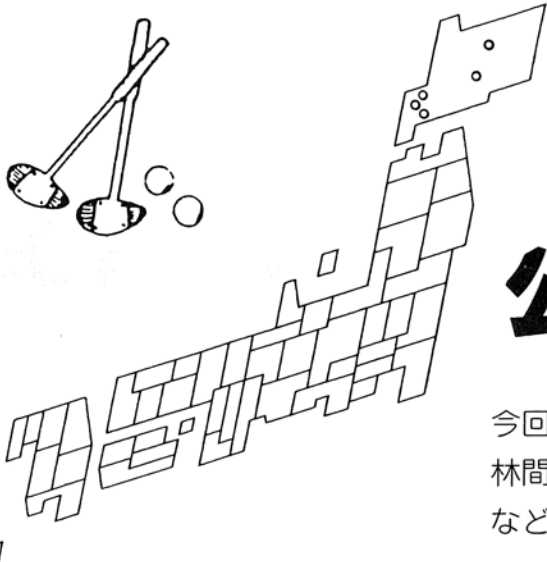
南米に着々と根付くPGの魅力

南米の各国でのPGの始まりは、北海道にゆかりのある人が現地の人に紹介したものが多く。個人の力で精力的に動きこままでの普及につながった。レジャーの少ない土地柄、若者たちはサッカーは盛んだが、その後続くレジャーはつりや園芸、そしてゲートボールだった。ゴルフも一部の人が楽しむものと言う具合。もっと手軽なスポーツ、誰でもすぐ始められるものというところで条件がパークゴルフに合致したよう。先に普及したゲートボールに代わる勢いで愛好者の広がりを見せている。特に日系1世たちはやっとな営農を後継者に任せ自分の時間をもてるようになった今日。パークゴルフの魅力を知り、熱中し始めた。広大な土地があり、個人の土地にコースを作ることもある。コースは1ホールが150メートルもあることもあり、日本のようなショートホールはあまり好まれない。1打目から思いっきり打ちたいのだという。

ますます広がりを見せるパークゴルフだが、これからは日系人たちだけでなく現地の人たちにも紹介していこうという動きがある。アスンシオン市では近い将来地元の一般公園にコースを造り、広く市民にパークゴルフを知ってもらいたいという。日本での広がり負けず劣らずの人気ぶり、これからも地球の裏側からPGだよりが聞かれそうだ。



ブラジルで初めてPGが行われたアサイ地区の愛好者たち（前列右二人が指導にあたる谷川さんご夫妻）



平成11年度 国際協会 公認コース紹介

今回紹介するのは、道内5コース。

林間コースや河川敷コースとバラエティに富み、親水池などの付帯施設を完備したPG場も加わった。

(コース名) レイクヒルパークゴルフ場

公認番号 **96**



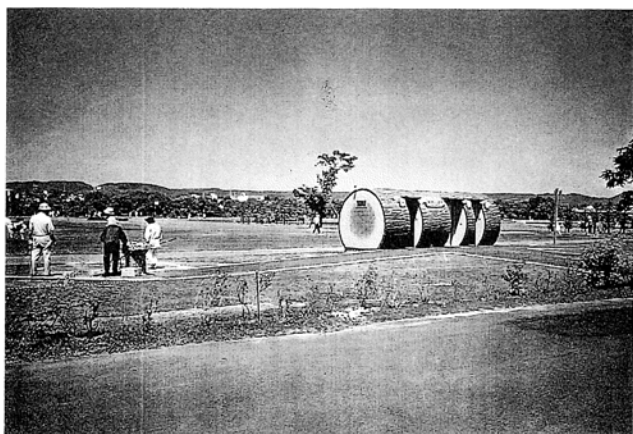
4種類のコースと羊蹄山、洞爺湖、有珠山、昭和新山の雄大な風景を楽しめる全36ホール。自然の地形が活かされ変化にとんだコース設計で、深い緑の中で思いきりパークゴルフを満喫して下さい。

- 場 所 有珠郡壯瞥町字立香
- 連絡先 (株)レストラン湘南 0142(22)1122
- 開設年月 平成11年7月
- ホール数 36ホール
- 開設期間 4月上旬～積雪まで
- 利用料金 有料
- 用具の貸出 有り

北海道伊達市

(コース名) 川東河川敷パークゴルフ場

公認番号 **99**



平坦地に造られたコースで長距離ホールは少ないですが、バンカー、植木等で適度な難度もあり、初心者から熟練者まで幅広く楽しめるコースとして好評を得ているところです。

- 場 所 北見市川東46-2・50-2
- 連絡先 北見市役所公園緑地課 0157(25)1139
- 開設年月 平成5年5月
- ホール数 54ホール
- 開設期間 4月～11月
- 利用料金 無料
- 用具の貸出 なし

北海道北見市

北海道幕別町

(コース名) 札内ガーデンパークゴルフ場

公認番号 106



- 場 所 幕別町札内北町55・56
- 連絡先 札内ガーデン温泉
0155(55)4000
- 開設年月 平成11年8月
- ホール数 27ホール
- 開設期間 5月1日～11月10日
- 利用料金 300円
- 用具の貸出 クラブ100円、
ボール100円

札内ガーデンPG場は、庭園内にある林間コースです。滝から流れ出る水で水車が回り、池には鯉がいます。又、野鳥が飛びエゾリスがいる中、プレーが楽しめるコースです。
(温泉施設がある快適な環境)

北海道真狩村

(コース名) 真狩パークゴルフ場

公認番号 107



- 場 所 真狩村字真狩118番地
- 連絡先 真狩ふれあい広場管理棟
0136(45)3339
- 開設年月 平成4年7月
- ホール数 36ホール
- 開設期間 5月～10月
- 利用料金 500円
- 用具の貸出 クラブ500円

雄大な羊蹄を眺めながら、ゆったりとした気分でプレーを楽しむことができ、子供からお年寄りまでが気軽に集まるワクワクプレイゾーンです。起伏にとんだコースでレイアウトや自然環境が最高と大変好評で多くのプレイヤーが訪れます。

北海道小樽市

(コース名) 札樽パークゴルフ場

公認番号 108

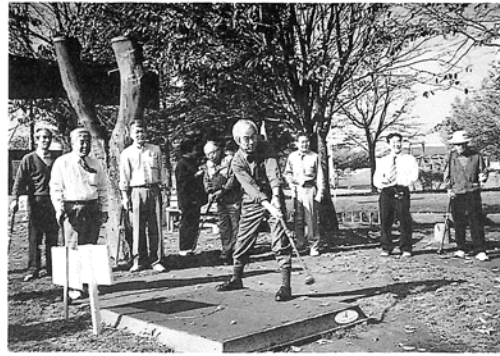


- 場 所 小樽市朝里川温泉1丁目394
- 連絡先 札樽ゴルフ倶楽部
0134(54)1900
- 開設年月 平成10年4月
- ホール数 18ホール
- 開設期間 5月～10月
- 利用料金 500円
- 用具の貸出 有り

今年度国際PG協会に新加入したのは43団体、合わせて378団体となった。大分県、埼玉県、和歌山県など、本州以南からの新規加盟が目立つ。団体名は以下の通り。

国際PG協会 新加盟団体

- | | | |
|-----|----------------|--------|
| 335 | 中川町PG協会 | (上川) |
| 336 | 当別町PG協会 | (石狩) |
| 337 | オンヨネ株式会社 | (新潟県) |
| 338 | くにさきPG場管理運営組合 | (大分県) |
| 339 | ㈱ダンロップスポーツ北海道 | (石狩) |
| 340 | 熊本市PG協会 | (熊本県) |
| 341 | ㈱雨宮館 | (十勝) |
| 342 | ㈱太平洋交通 | (釧路) |
| 343 | 久木野村PG協会 | (熊本県) |
| 344 | 剣淵PG協会 | (上川) |
| 345 | 高崎町 | (宮崎県) |
| 346 | ㈱ロンウッド | (富山県) |
| 347 | 上ノ国町PGクラブ | (檜山) |
| 348 | 南茅部町PG協会 | (渡島) |
| 349 | 相馬市PG協会 | (福島県) |
| 350 | エヌアイ・フジックス株式会社 | (石狩) |
| 351 | 北見モイワスポーツワールド | (網走) |
| 352 | 大島町PG協会 | (富山県) |
| 353 | 大門町PG協会 | (富山県) |
| 354 | 下村PG協会 | (富山県) |
| 355 | 立山町PG協会 | (富山県) |
| 356 | 滑川市PG協会 | (富山県) |
| 357 | 魚津市PG協会 | (富山県) |
| 358 | レストラン湘南 | (胆振) |
| 359 | 八戸PG協会 | (青森県) |
| 360 | 古平PG同好会 | (後志) |
| 361 | 株式会社大宇総業 | (釧路) |
| 362 | 高知県PG協会 | (高知県) |
| 363 | やちまたPG | (千葉県) |
| 364 | 若柳リバーサイドPGクラブ | (宮城県) |
| 365 | 北海道ツアーシステム帯広支店 | (十勝) |
| 366 | 古川PG愛好会 | (宮城県) |
| 367 | 小平町 | (留萌) |
| 368 | ㈱笹井ホテル | (十勝) |
| 369 | JTB北海道本部 | (十勝) |
| 370 | 野上町 | (和歌山県) |
| 371 | ホテルほくようPG倶楽部 | (胆振) |
| 372 | 洞爺PG協会 | (胆振) |
| 373 | 室蘭PG協会 | (胆振) |
| 374 | 吉見町PG協会 | (埼玉県) |
| 375 | ホワイトパーチPG場 | (後志) |
| 376 | 米沢市PG協会 | (山形県) |
| 377 | 飯豊町PG協会 | (山形県) |
| 378 | 長井市PG協会 | (山形県) |



初体験でもナイスショット。
手軽さ、楽しさを実感する一行

この視察は高知県がパークゴルフの普及を通じて「地域づくり・3世代交流」に成功した例として北海道に着目し、県内の市町村に呼びかけて企画。県のほか高知市や土佐山田町など4市町村からコース設置やスポーツ振興に関わる部署などの担当者が派遣された。

一行16人は第1日目に幕別町での取り組み・状況やパークゴルフ普及の多面的な効果の講義。第2日目は宿泊施設に隣接する「俳句村コース」で実際にプレイし「どのような

この視察は高知県がパークゴルフの普及を通じて「地域づくり・3世代交流」に成功した例として北海道に着目し、県内の市町村に呼びかけて企画。県のほか高知市や土佐山田町など4市町村からコース設置やスポーツ振興に関わる部署などの担当者が派遣された。

一行16人は第1日目に幕別町での取り組み・状況やパークゴルフ普及の多面的な効果の講義。第2日目は宿泊施設に隣接する「俳句村コース」で実際にプレイし「どのような

高知県の行政担当者が9月13日に来道、3日間にわたり本場北海道のパークゴルフの普及状況を視察した。高知県北海道事務所谷口敏郎所長は「土地や環境の違いはあるが、高知なりに工夫し地域づくりや土地利用にパークゴルフを生かしていきたい」と視察の成果を語った。

高知県から発祥の地幕別に視察 行政主導でパークゴルフ振興を

「身近な公園で楽しめるのはすばらしい。高知でもコース設置を働きかけてゆきたい」と話していた。高知では高知県PG協会があるものの、まだパークゴルフの認知は低く、PG場も有料の民間コースがあるのみ。「よさこいソーラン祭り」では市民どうしのつながりが自治体同士の交流に広がった縁のある高知県と北海道。高知県での行政主導のパークゴルフ振興に今後の具体的な取り組みが注目される。



幕別町が行政としてPG振興にどのように取り組んだかを学んだ研修会

スポレク祭のリハーサル 第1回支部大会でルール講習会も開く

石川県支部主催の第1回石川県支部パークゴルフ大会が11月7日、野々市町上林地内健康ひろばコースで開かれた。大会の参加者は152人そのうち23人が公認指導員更新をかねた選手で、大会を通じてルールの徹底が図られた。

この大会は来年石川県で開かれる全国スポーツレクレーション祭にパークゴルフがデモンストレーション競技として参加することから主管となる同支部がルールの理解やマナーの高揚を目的に公認指導員の資格更新の実技講習会をかねて開催。大会出場者の各グループに公認指導員受講者をチームリーダーとして配した。当日は指導員自らお手本となってルールの的確な判断を示し、プレイ進行もスムーズ。これまでにないひきしまった大会で、出場者全体のスコアが上がり好成績につながった。

石川県支部より

問

国際パークゴルフ協会
0155-542260



ウォーキング感覚も楽しめるパークゴルフ場は全国各地にある

ボールを打つ快感とウォーキング効果も期待
野球のボール程度の大きさの球を、ふつうのゴルフクラブよりも短いクラブを使用するパークゴルフ。専用のゴルフクラブは軽くて持ちやすく、コースを歩くときにも邪魔にならない。女性や子供でも簡単にできて、ミニゴルフ感覚が楽しめる。パークゴルフのコースは全国各地にあり、冬場でも九州地方などではプレイすることが可能。ウォーキング感覚も満喫できるので、リフレッシュ効果もバツグンなのだ。

99年★パークゴルフ
簡単にできて楽しいコースを歩く気分が爽快子供と一緒にできる

東北から仲間入り 山形県支部が設立しました



武田 昭三
支部長

支部長 武田昭三
理事長 今野 茂
副支部長 土屋金太郎、鈴木幹司、佐原正
指導普及部長 佐原嘉藤次
事務局長 今野郁子

国際PG協会山形県支部がこのほど設立した。東北地方から岩手、宮城に次ぐ設立で国際協会24番目の支部となった。同支部は長井市PG協会、米沢市PG協会、飯豊町PG協会の3団体が加盟し支部が設立されました。会員数は67人。支部長以下、役員は次の通り。

「永遠に美しく」を 保つためパークゴルフ が効果あり

中高年の健康ライフをサポートする雑誌「りじょい」。同誌12月号の中で99年に注目したいスポーツのなかにパークゴルフが登場しています。スポーツをして健康維持、生活を楽しくするという企画で、ずばり「永遠に美しく」がテーマ。マラソン、ウォーキング、アクアビクスなどの種目とともにパークゴルフを取り上げている。記事の中でパークゴルフの楽しみ方を紹介し、「ボールを打つ快感とウォーキング効果も期待」と推薦しています。



パークゴルフが交流のかけ橋



今年の国際大会にも共に出場。
交流を続ける前多さん一家とロングさんファミリー

パークゴルフが 出会いのきっかけ 国際大会出場を機に 家族ぐるみの交流4年

国際大会のテーマは「交流」。4年前に大会で出会いその後も交流を続けている家族がある。幕別町の前多寿さんと帯広畜産大学留学生のロング・タング・フォンさん一家は今年もそろって大会に出場、好成績をたたえ合い友情を深めている。

ロングさん一家は初出場だった4年前の前多さんと初顔合わせ、コースを一緒に回った。当時は日本にきて1年ほどで日本語もままならない状況だったがパークゴルフ以外の話題でも意気投合、連絡先を交換しあったのがきっかけ。大会後も一緒にパークゴルフを楽しんだり、手料理をごちそうしあったりとお互いの家を年に数回は行き来しあっている。

パークゴルフの腕もめきめき上がり昨年はロングさん夫妻が外国人の部でアベック優勝、今年6月に開催された大会では前多さんは8位入賞、手ほどきを受けたロングさんの一人息子フォン君(11)も初参加で外国人の部3位に入った。家族ぐるみのつきあいから友人たちも加わり、輪が広がりつつあるこの交流。PGを架け橋に国際交流が続けられている。

「IPGA ニュース」 講読申込み受付中

国際協会の機関誌「IPGA NEWS」が自宅へ届く購読システムができました。講読料(誌代と郵送料含む)は1冊のみの方は300円、6冊分の定期(隔月刊)講読希望の方は1500円。講読料分の切手を同封の上、協会本部まで郵送で申し込んでください。その際、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。あて先は協会本部。みなさんのご愛読に、内容充実にも努めていきます。「IPGA NEWS」を読んでみなさまの声をお聞かせください。

北海道
十勝発

PG場専門の いこいの場 今年2カ所でオープン — 飲食に、交流もでき好評 —

パークゴルフ場利用者のための飲食の店が今年次々オープンした。オープンしたのは幕別町の全日本選手権も行われたはらっぱ36コースの「パークグルメ」と、帯広市のポロシリ高原PG場横に設置された「喫茶ポロシリ」の2カ所。どちらもシーズンは地元の利用者だけでなく、遠方から訪れた団体客も多く、



人気のはらっぱ36コースにトラックを改造したお食事処の「パークグルメ」

「パークグルメ」は以前から利用者からの要望があり、その声に応え町が町商工会に業務委託し、店舗の開設にこぎつけた。河川敷のため道開発局から許可を得、店舗自体もトラックを改造したものでテーブルやいすを用意した。うどん、そばなどの軽食と飲み物やソフトクリームなどもメニューに加えている。運営に携わる那須将生さんは「PG場専門の店として初めての経験。来シーズンに向けて利用者のニーズに応えた店づくりを工夫してゆきたい」と話している。

一方、「喫茶ポロシリ」は地元の八広地区村づくり協議会が設置し、ボランティアの主婦たちが店を切り盛りしている。プレハブを利用した店内にはカウンターもありくつろげる喫茶店風。カレーライスやラーメンなどの軽食に飲み物と夏にはかき氷や観光地八千代牧場のアイスクリームも取りそろえた。同店で働く長尾月江さんは「素人ながら地域に守られやっています。他地域からのお客さんとの会話も楽しい」と話している。どちらもシーズンオフとなる冬季のPG場閉鎖とともにお店も休業となる。



地元の支えてオープン。愛好者たちでにぎわう「喫茶ポロシリ」

編・集・後・記

このニュースの編集を担当して半年が過ぎました。幕別で開催した3大会にも足を運び、いろいろなニュースを伝えてきました。しかし、まだまだ私の届かないところに話題があるのでは、と思う日々です。みなさまの声を是非聞かせてください。身近な話題、PG仲間との記念写真など楽しみに待っています。あて先は協会本部「IPGA NEWS」係です。

募集や問い合わせのあて先は

〒089-0604
北海道中川郡幕別町錦町66-2
TEL 0155-54-2260
FAX 0155-54-2204
国際パークゴルフ協会まで

発行／国際パークゴルフ協会
定価 1部100円

ルールを教えてQ&Aコーナー

質問

友人たちとコースを回っていたところ、私の打ったボールはコースをそれて草むらに。低い樹木も生えており探してもボールは見つかりません。友達にはせかされ、けれどボールはみつかりません。仕方がないので私はそのままグープを抜けることにしました。ボールが見つからないとプレイは続けられないのでしょうか。

答え

プレー中にボールを紛失したり、見つからなくても自分が自分のボールと確認できなかった場合は「紛失球(ロストボール)」と言います。この場合、プレーを中断しなくても紛失したと思われるところからペナルティーを付加して打つことができます。ルールを知ってもっと楽しめるですよ。

※このコーナーでは、本部に問い合わせのあったパークゴルフに関する質問に答えてゆきます。今後もさまざまな質問をお寄せ下さい。